

## 学生が「教える対象」から「学びの主角」へ

現在、大学教育では、「教員が学生に何をどう教えるのか」から「学生が何をどう学ぶのか」へのシフトチェンジ、言い換えると指導型教育から支援型教育への転換が起きつつあります。「学生が何をどう学ぶか」という問いは、大学に「学ぶ内容をどう提供するか」「学びの過程をどう支援するか」という二つの問いを突きつけることとなります。このうち、ファシリテーションは「学びの過程をどう支援するか」に応えるものと言えます。学びの過程をデザインし、運営し、振り返る、そのためのマインド(心構え)とスキル(技術)をひっくるめて、私達はファシリテーションと呼んでいます。



### ファシリテータの役割

グループによる問題解決やアイデア創造、対話など、様々な学びを創り出す活動を支援し、促進していく役割を担う人がファシリテータです。授業やゼミ活動、会議、サークル、ボランティアなどの様々なグループ運営において、場の活性化と個々人の自律的な行動を支えます。F工房は学生や教職員一人ひとりが「場の創造者」となることを願いながらファシリテータの「こころ」、「わざ」の普及・定着を目指します。

#### ファシリテータの「こころ」

##### 対話

意見のくい違いがあったとき、相手を説得しようとする態度は「議論」につながります。一歩引いて、互いの共通点を探ろうとすると、「対話」が生まれます。この「対話」を促進することを常に意識します。

##### フラットな関係

その場にかかわる人の立場や役割に関係なく、互いに対等な関係の中で話し合いを行うことが重要です。そのような場づくりを常に心がけます。

##### ふりかえり

自らの体験を振り返ることで、人はより成長できます。その際、行動や発言内容を振り返るだけでなく、それに伴う様々な感情や価値観も振り返ることで、より多くのふりかえりが可能となります。体験をそのままにするのではなく、ふりかえりの定着を目指します。

#### ファシリテータの「わざ」

##### 場の雰囲気をつくる

アイスブレイク(※1)や適切なタイミングによる介入で参加者の「前のめり」を促します。

##### 人と人をむすぶ

参加者からの発言を受けとめ、必要に応じて他の人に投げ返す助けをします。

##### 議論を整理する

ファシリテーション・グラフィック(※2)などの手法で、出された意見やアイデアなどを見えやすく提示し、「進めやすい形」にまとめます。

## F工房の 活動内容 activities with facilitator mind

01

## F工房がかかわっている ファシリテーションの実践、活用の現場

F工房は「指導型教育」から「支援型教育」というシフトチェンジを様々な場面において推進しています。F工房が組織化してきた「学生ファシリテータ」がかかわる授業では、教える教員と教わる学生という関係を超えて協働し、運営しています。

### 授業運営支援 (キャリア形成支援教育科目)

1年次対象の「自己発見と大学生活」の授業運営にはファシリテーションが組み込まれています。大教室固定机における参加型授業の企画や運営、授業をサポートするキャリアファン(※3)の養成に貢献しています。



- 自己発見と大学生活
- キャリア・Re-デザイン!
- 大学生活と進路選択 など

### (専門科目)

専門科目の授業場面でも、ファシリテーションの活用を推進しています。SA\*としてかかわる学生にファシリテーションのトレーニングを実施し受講生の「前向きな姿勢を引き出すスキルを養成しています。

\*SA(Student Assistant) 法学部初年次演習科目において、受講生をサポートする先輩学生(2014年現在)



- 法学部演習
- アジア文化基礎演習2
- 法教育演習! など

### 課外活動支援

クラブやサークル活動のミーティングや、参加型イベントなどの場において、活発で率直な意見交換を可能にするためには、ファシリテーションが有効です。運営やファシリテータの養成、プログラム企画など幅広く支援しています。



- 京産共創プロジェクト
- 高大連携授業でのワークショップ運営
- 京都市文化局のワークショップ運営 など

02

## ファシリテーションを知りたい人、深めたい人に向けた ファシリテーション研修

### プログラムに特化した研修(カスタマイズ型)

プログラム(ゼミ・授業など)の運営に必要なファシリテーションの知識やスキル獲得を目的として、運営にかかわる学生や教職員に対して、事前に研修を行っています。



- キャリアファン
- フレッシュヤーズ・コミュニケーション
- 学生FDスタッフ「燦」



### ファシリテーションを深く学ぶ研修(主催型)

ファシリテーションのマインドやスキル獲得を目的とした研修を、F工房が主催しています。参加者が、研修での深い学びをそれぞれの現場で活かせる内容を企画しています。

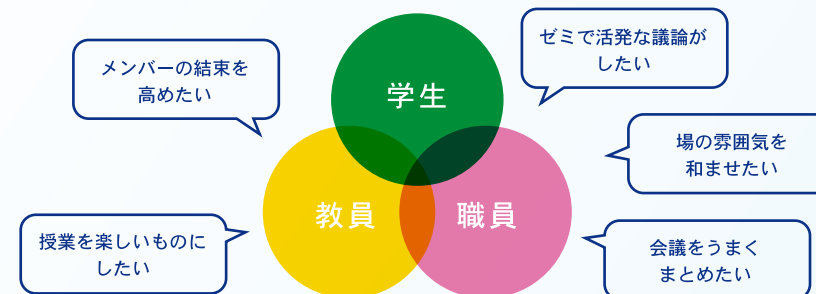


- ファシリテーション研究会・研修会(学内外対象)
- ファシリテーションLabo.(学生対象) など

03

## 学生、教員、職員の「困った」に対応する コンサルティングとファシリテータ派遣

学生や教員、職員からの授業やイベントの運営に関する相談に応じます。また、運営をサポートする学生ファシリテータの派遣も行っています。



F工房では、ファシリテーションの活用により、効果が期待できる様々な相談に対応しています。



※1 アイスブレイク

氷のような硬く緊張した雰囲気を和ませ、皆が打ち解け合ったり、互いを知り合ったりするきっかけをつくるための時間、またはコンテンツのこと。

※2 ファシリテーション・グラフィック

会議などの際、議題や出された意見を書き出し、共有の助けとすること。または、書かれたもの。議事録との違いは、会議の進行と同時性があること、その場にいる全員が見て共有することである。

※3 キャリアファン

「キャリア科目担当学生ファシリテータ」の略称で、本学キャリア形成支援教育科目「自己発見と大学生活」において、先輩学生として授業をサポートする学生。